

地域と共生するFFG

きゅうしゅうこう きょう がく だん

九州交響楽団

街に寄り添い、日常を豊かに
進化する九響サウンド



1953年の創立以来、九州の音楽文化を牽引し「九響」の名で親しまれてきた九州交響楽団。2024年度に発足した首席指揮者・太田弦氏、ミュージックアドバイザー・篠崎史紀氏の新体制も、3年目のシーズンを迎えようとしています。

音楽芸術の真髄を追求した「定期演奏会」をはじめ、トークとともに作品の魅力を味わう「天神でクラシック」、妊娠中の方やお子さま連れの方も安心して楽しめる「九響マタニティコンサート」、新年を彩る「ニューイヤーコンサート」など、多彩なプログラムを展開。さらに「中学生の未来に贈るコンサート」などの教育分野への取り組み、行政や企業による依頼演奏など、九州を代表するオーケストラとして、年間約150回におよぶ公演を行っています。

今年7月にはFFGの五島社長が理事長に就任。創立80周年、そして100年という節目を見据え、九響は今、新たな挑戦のステージへと歩みを進めています。今回は、現在の取り組みと活動への想い、未来への挑戦についてご紹介します。



あいさつ

九州交響楽団理事長 五島 久

(株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ 取締役社長)



2025年7月から九州交響楽団の理事長に就任いたしました五島でございます。本楽団は1953年の創立以来、九州を代表するプロ・オーケストラとして、地域に根差した音楽活動を展開し、皆さまからの温かいご支援と高い評価をいただいております。音楽を愛する者のひとりとして、これまでに築いた伝統を大切にしながら、時代の変化に即した新しい挑戦を積極的に進め、「地域とともに育つ楽団」「持続可能で多様性のある組織」を目指し、楽団一丸となって活動に取り組んでまいります。

さて、2026年度は首席指揮者太田弦、ミュージック・アドバイザー篠崎史紀体制3年目のシーズン。それぞれとの関係、コミュニケーションはますます深化して

おり、だからこそ実現できるオーケストラ音楽の醍醐味を皆さまにお届けいたします。

「定期演奏会」や「天神でクラシック」では年間を通して、今まで以上に九響の多彩な魅力を感じていただける出演者、演目を揃えました。また「九響アフタヌーン・セッション」と題して、実力派ソリストとの共演とオーケストラの名曲を平日の午後にお楽しみいただける新シリーズも始めます。皆さまのライフスタイルにあわせてお聴きいただければと存じます。

加えて、「北九州定期演奏会」、熊本、大分での「特別演奏会」もより充実させ、九州各地で九響の音をお聴きいただきたいと思っています。

また、「九響マタニティコンサート」、「オーケストラforキッズ」、「夏休みミラックスクンサート」など親子で楽しめる公演や年齢、障がいの有無に関わらず、多くの方がクラシック音楽に触れる機会も広く展開し、九響のキャッチフレーズである「あなたの街のオーケストラ」を進めてまいります。

私たちは、これからもより多くの皆さまに愛され、地域の文化を豊かにする存在となるべく、力を尽くしてまいります。今後とも変わらぬご支援賜りますようお願い申し上げます。

九響

Vision

ビジョン

01

オーケストラ・コンサート活動

芸術音楽の素晴らしさと感動をお届けし、日本のトップオーケストラを目指します

02

地域・社会貢献活動

「あなたの街のオーケストラ」として、地域、社会のために貢献します

03

教育・人材育成活動

九州の未来を担う子どもたちや若者に音楽を届け豊かな感受性や共感力を培います

04

経営基盤の強化と組織風土の充実

サステイナブルな楽団経営に取り組むことでプロフェッショナルな音楽家集団としての責任を果たします

音楽のチカラを、明日のチカラに

創立の歴史

音楽への情熱を絶やさず
歩み続けた73年

1950年、NHK 熊本中央放送局の放送管弦楽団を中心に、戦後の九州で初となるオーケストラ「熊本放送楽団」が結成されました。その誕生に触発されたのが、初代常任指揮者・石丸寛氏をはじめとした音楽を愛する若者たち。「福岡にもオーケストラを！」という情熱のもと、翌1951年、後の九響につながる「福岡放送管弦楽団」が誕生しました。こうして九州に生まれた2つのオーケストラを中心に、九大フィルや九州各県の奏



者にも声をかけ、1953年10月31日、九州交響楽団としての初の定期演奏会を開催しました。運営資金や団員の確保に奮闘しながらも、創立20周年の1973年には念願のプロ化を達成。そこから専属団員の数を少しずつ増やし、九響は着実にレベルアップしてきました。近年も、震災やコロナウイルスの影響による公演の開催中止や制限などさまざまな苦難がありました。九響を必要とする方々の支援や、新たな取り組みへの挑戦によって危機を乗り越え、2023年には創立70周年の新たな節目を迎えました。

理念

さらなる未来を拓くため
「九響ビジョン」の改定

創立60周年を迎えた際、「九州唯一のプロ・シンフォニーオーケストラとして九州の楽壇をリードする存在でありたい」との想いから「九響ビジョン」が策定されました。以来、活動の指針となっているこの理念を、人々のライフスタイルの多様化やクラシック音楽業界を取り巻く現状の変化に伴い、創立70周年を機に改定しています。決して平坦なものではなかった73年の道のり。それでも音楽のチカラを信じ、いつでも街のため、人のためにできることは何か、を考え実行し続けて

きた「九響」。次の節目である80周年に向け、時代の変化への柔軟な対応と経営基盤の強化を促進し、街に寄り添うプロフェッショナルな音楽集団、九州唯一の交響楽団としての覚悟と信念を持ち、これからも歩み続けていきます。



活動内容①

芸術音楽の感動をもっと身近に

九響の活動の主軸となるのは、アクロス福岡や北九州芸術劇場で開催している「定期演奏会」。九響ビジョンの冒頭にも掲げているように、高い芸術性を追求し、これまで九州で演奏されたことのない作品や、プロ編成だからこそ実現可能な高い技術を要する作品に取り組んでおり、まさに楽団が総力を上げて音を奏でる至極の公演といえます。

一方、FFGホールで開催している「天神でクラシック」シリーズはソリストや指揮者が作品の魅力について語りながら進行するスタイルで、クラシックを楽しむ入門の機会として、より気軽に楽しめる公演です。年末の「第九」公演や、年始の「ニューイヤーコンサート」も季節の風物詩として、人気の公演となっています。

活動内容②

すべての人が音楽に触れられる街へ

4年前からスタートした「九響マタニティコンサート」は毎年完売している人気の公演です。ミルクコーナーや助産師相談コーナー



もあり、お子さま連れや妊婦さんが、リラックスして音楽を楽しめる場として、来場者の方からも大変好評の公演となっています。ほかにも、車椅子の方や障がいがある方も安心して音楽を楽しめる工夫を施した「夏休みリラックスコンサート」、学校での巡回公演など、街のすべての人が九響サウンドに触れられる機会の創出に取り組んでいます。「オーケストラ」と聞くと、遠い存在だと感じられる方もいるかもしれませんが、子どものころ、あるいは家族の方が、一度は九響の音楽に触れたことがあるのではないのでしょうか。地域に密着し、より多くの人にクラシックの

魅力を届ける公演づくりをすること。九響が「あなたの街のオーケストラ」として、設立当初から変わらず挑戦している取り組みです。

法人企業に向けて、また今後の活動について

日常に響く最上級の音色九州の誇りをめざして

九響では主催公演の他に、企業の周年行事やイベントと連動した記念コンサートなどの依頼公演も対応が可能です。場所や用途、予算など個別の相談で、オーケストラはもちろん、少人数での室内楽など幅広い内容の公演を行っています。九響はこれまでも、九響の活動を応援する後援会による支援や協賛による支援とともに歩んできました。九州という名を冠した楽団として、これからは福岡県のみならず、九州各地での活動を積極的に広げ、地域の人の日常が少しでもゆたかになるような、親しみある存在を目指します。街にオーケストラがあることは、当たり前ではありません。九響はこれからも幼少期から上質な音楽に触れること、学校でオーケストラを聴けることの価値を地域全体に発信していきたい、ひとりでも多くの方が誇りに思うよう、演奏を通し、音楽文化の素晴らしさを届け続けます。

九響後援会 会員募集のお知らせ

九州交響楽団は、九州唯一のプロのシンフォニー・オーケストラとして、様々な演奏活動を通じて、多くの皆さまへ音楽の感動をお届けしています。活動をより充実させるために、また、幅広い社会貢献活動を行うためには、日頃より芸術文化推進の想いにご賛同いただける方の支援が不可欠です。ぜひ、九州交響楽団の広範な演奏活動にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

法人

- ▶ 九響後援会への入会や増口：5万円／1口・年～
- ▶ チケット購入：九響主催公演のチケットをまとめてご購入（福利厚生などへの活用）
- ▶ 公演依頼：オーケストラ演奏の依頼
室内楽演奏（弦楽または管楽）の依頼
- ▶ 特別協賛：1公演・100万円（税別）～（九響主催公演会場でのPR、招待券贈呈などの特典あり）
- ▶ 支援自販機の設置：自販機を設置し売上の一部を寄付

個人

- ▶ 九響後援会への入会や増口：25,000円／1口・年～
lightプラン10,000円／1口・年～

ご入会時に、①寄付をするか、②聴いて支援するかを、選択いただきます。

① 寄付をする（税制の優遇を受ける）

九州交響楽団は「公益財団法人」の認可を受けました。

●法人

一般寄付金の損金算入限度額と別枠で損金算入することが認められています。

●個人

「寄付金控除（所得控除）」と「寄付金特別控除（税額控除）」のどちらか、減税効果の高い方を選択できます。

※税制優遇の詳細については、お近くの税務署までお問い合わせください。

② 聴いて支援する（座席引換券を利用する）

九響主催演奏会の座席引換券を一口につき4枚

※（下期入会時は2枚）お送りいたします。

（一部対象外の演奏会がございます）

※個人会員（Light）は一口につき1枚、下期入会されたお客様には座席引換券のお渡しはございません。

寄付金についてはこちらをご覧ください
<https://www.kyukyo.or.jp/support/>



お問い合わせ | 九州交響楽団 TEL 092-822-8855

公演情報など詳しくは 九州交響楽団HPへ <https://www.kyukyo.or.jp>

